

活動報告

- 活動日時： 2024年2月4日（日）9：30～15：30
- プログラム名：アカマツ林整備作業
- 目的：アカマツの保全、生育促進によるアカマツ群落の形成
- 活動場所：アカマツ林 A、D～F地区
- 参加者：6名
- 活動概要：シダ刈り、萌芽枝刈り、作業道ルート設定、材処理（作業道資材作り）

■活動内容

雨天続きの合間を縫ってアカマツ林作業が出来ました。早朝は厚い雲でしたが徐々に明るくなり適温で風もなく、地面は濡れていましたが先ず先ずの作業日和となりました。参加者は6名と少数でしたがベテランでやる気満々の面々！

作業はシダ刈り、萌芽枝刈りと作業道のルート設定及び材処理による作業道の資材作り。シダ刈りの場所はここ数年手を付けられずにいたF地区斜面。遊歩道から見ると青々した緑に覆われて見た目はともかく、これではアカマツは生育しません。カマと刈込バサミで刈り取りを開始、1m以上に大きく生長した太く硬いシダに「菜箸みたい！」、刈った後の茎にチクチク刺されながら、量も多い難儀な作業となりました。しかし作業が進むにつれ地形も見えてきて、E地区からの作業道ルートの設定が出来ました。ルート沿いにはポールを立てて目印としました。



一方、既存のD地区までの作業道からE地区に至るルートの整備として、前回作業で残置の刈取済み萌芽枝の除去と新たな萌芽枝の刈り取りを行ないました。さらに過去に除伐した後、斜面に埋もれていた大径木を鳶口で動かして整理しました。

また作業道作りの資材とする為の材処理作業を行ないました。活用する材は1月19日に行った柏陵高校自然研修での体験伐倒の木やA地区のアカマツ幼木の間伐材です。直径10cm・長さ70cm位の横木用、細めで長さ50cm・先をナタで尖らせた縦杭用を作って、雨対策を講じて保管しました。作業終了後の遊歩道からの光景、特にF地区斜面は色が緑から茶に変わり作業の成果が見て取れる見違える状態になりました。



〈シダが綺麗に刈られ見通しが良くなりました。 安全のためにも作業道補修の資材作り。〉



〈今回の参加メンバー、森会が誇るベテラン達です。〉

